



# 田植え後の水管理

## 【水管理のイメージ】

水深	
時期	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>5月～ 植付後：やや深水 活着後：浅水</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>6月～ 植付後約1ヵ月後 2週間ほど中干し</p> </div> </div>

### ポイント

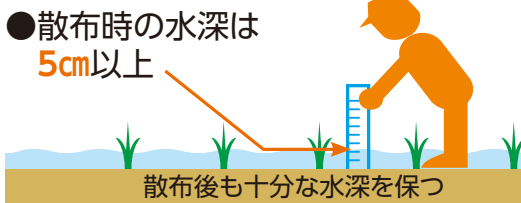
分けつ促進のため、  
自然減水させる

移植後から幼穂形成期の水管理は、「保温効果」「雑草の抑制」「養水分の供給」などの生育・収量や品質に影響を与える重要な役割があります。水稲の生長点が土壌中にあり、「地温」と「水温」から影響を受けやすいので、生育初期は細やかな水管理が必要です。

**田植え以降は、今年産米の品質・収量を大きく左右する重要な時期です。  
田植え後の生育不良や、雑草の取りこぼしがあれば、営農指導担当者にご相談下さい!!**

## 除草剤使用の注意点

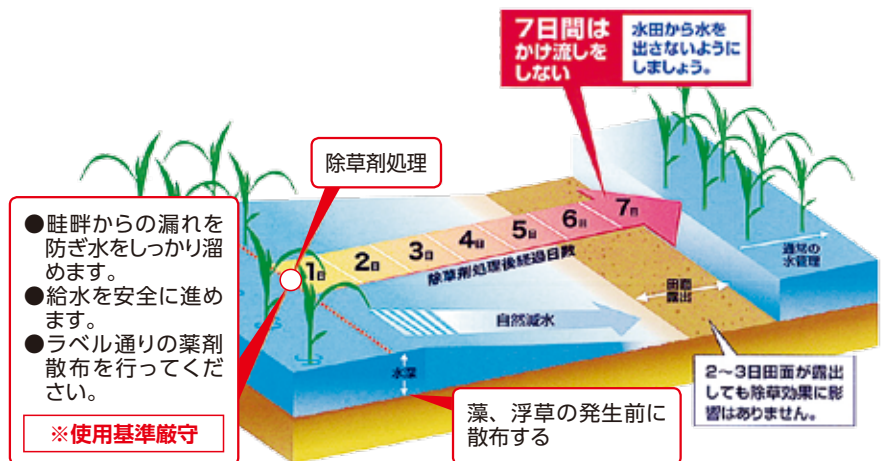
- 散布時の水深は5cm以上。特に、ジャンボ剤・フロアブル剤は必ず5～6cmの湛水状態を保ってください。
- 藻・浮草が発生していると、拡散が不十分となり効果が劣ることがありますので、使用時期の範囲内で早めに散布してください。
- 水口、水尻をしっかりと止めて、散布後は少なくとも7日間はそのまま湛水を保ち、落水・掛け流しはしないでください。
- 除草剤は土壌面に被膜を作り雑草の発芽を抑えるので、散布後は土壌面が現れないようにしてください。



### 【除草剤の上手な効かせ方】

#### ■「除草剤処理後7日間給水しない止水管理」の模式図

(日本植物調節剤研究協会「止水管理」パンフレットより引用)



- 畦畔からの漏れを防ぎ水をしっかり溜めます。
  - 給水を安全に進めます。
  - ラベル通りの薬剤散布を行ってください。
- ※使用基準厳守

## 還元障害の症状と対策(やみ田)

早期の対応が  
生育・品質改善の第一歩です!

### 軽い症状

- 下葉が黄色くなります。
- 分けつが遅くなります。
- 色が出ません。

- 軽く干します。(5日程度で色が出ます。)
- 干しても回復がみられない場合は、硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。

### 重い症状

- 全く分けつしません。
- 下葉に赤い斑点があります。
- 根張りが悪くなります。

- 溝切り(こじわり)を行い、数日間落水して、田面を干します。
- 硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。



詳しくは栽培の手引き  
P16をご覧ください!!

